

第41回 向日市上下水道事業懇談会 議事録

日 時 : 令和6年7月3日（水） 午後3時から4時30分まで
場 所 : 上植野浄水場 大会議室（2階）
出席者 : (委 員) 太田委員他6名（2名欠席）
 (事務局) 都市整備部長他10名

1 会長あいさつ

2 議事

議事1 【令和6年度 水道事業会計予算及び主要事業について】

事務局説明

- 令和6年度 水道事業会計予算及び主要事業について 事務局説明

○質疑

- 委員 他会計補助金とあるのは、具体的にどういったものか。
事務局 今年度に実施する水道料金の基本料金減免に対する国庫補助金。一旦一般会計に入金した後、水道事業会計に対して繰り出されるので、他会計補助金として経理される。
- 委員 寺戸町東御泥地区の開発工事は、今年度実施するということか。
事務局 そうです。
委員 今のところここだけか。東の方に伸びないのか。
事務局 東の方には伸びない。すでに北部開発の区画整理事業の際に阪急の下をくぐって管を敷設しているので、それにつなぐ。

議事2 【令和6年度 下水道事業会計予算及び主要事業について】

事務局説明

- 令和6年度 下水道事業会計予算及び主要事業について 事務局説明

○質疑

- 会長 給水件数は19,700件、排水件数は19,000件と排水件数の方が少ないのはなぜか。
事務局 特に集合住宅などと関係がある。6～700件は主に集合管、集合住宅へ引き込んだ件数である。
会長 給水は個々を1件1件数えているが、排水は集合住宅全体で1件としているからか。排水量が給水量より多いのは、雨水の関係か。それとも井戸水か。
事務局 給水以外に認定汚水（井戸水）を利用されている方がある。雨水は入っていない。
委員 青木のカメラ調査に補助があるが、国の補助金か。予算書には国の補助金というのではないか。
事務局 金額的にそれほど大きくなないので、収益的収支の「その他」に入っている。

会長	能登半島地震では新潟で液状化による下水マンホールや下水管が浮き上がり、大きな被害が出ていたが、向日市は液状化の被害はそれほどないと考えているか。
事務局	基本的にはたくさん起こるとは考えていない。代表的なマンホールを使って10年位前に調査をしたが、大丈夫であった。今後より細かく検証していくことは課題。
委員	長期前受金戻入に関して、予算書12ページの受贈財産の評価額とはどういうものであったか。
事務局	開発業者が開発時に埋めた汚水管や雨水貯留施設を市に引き渡し、管理等を市が引き受けるものである。

議事3 【向日市上下水道事業経営戦略（案）にかかるパブリックコメントについて（報告）】

事務局説明

・向日市上下水道事業経営戦略（案）にかかるパブリックコメントについて 事務局説明
○質疑

会長	耐震化率が低いので驚いたという意見があった。劣化した水道管を更新するときに耐震管に替えるのか。
事務局	法定耐用年数が40年であり、耐用年数を過ぎたものを計画的に更新している。
委員	最近色々な話を聞いていると、いわゆるウォーターPPP、広域化の流れから官民連携で水道版PPP、今までレベル1から4だったところへ間にレベル3.5というのを作つて、それを積極的に導入するように、民間企業に業務を任せ、事業運営に関与させるという取り組みが、国土交通省を中心に進められているという。
	4月から水道も所管が国土交通省に移ったので、下水道事業の考え方が水道事業にも反映されるのではないか。下水道の場合、管渠の維持管理についてレベル3.5を導入して官民連携をしていないと、令和9年度には補助採択されないということを聞いた。広域化に代わるものとして、民間企業に複数の自治体が業務を発注し、実質的に民間企業に事業の運営を任せたらどうかという考え方があるようだ。
会長	向日市も浄水場があるので、今後、包括委託的な、または公設民営的な考え方で国が指導してくることは予測される。研究を進め、調べていただいて対応していただけたらと思う。
	水道事業を民営化していくかどうか、市民に安全な水道を安定的に提供するという視点から大きな議論になってくる。ただ、自治体によってはそうせざるを得ないところもこれから出てくる。向日市でどうするかというのは、これから一つの選択肢として考えておく必要はあるかと思う。やるやらないは状況を見定めながらになると思うが、何か向日市で議論はあるか。
事務局	民営化については議会等ではつきりお答えしているが、現在のところ全く考

えていない。PPPについては具体的に何もこちらに下りてきていないので、現段階では検討という状況ではないが、下りてきたら本市にとって有利になるかどうかも含めて幅広く検討する中で、懇談会でもご意見をいただきながらどのように反映していくか、今後検討したいと考えている。

議事4-① 【京都府営水道事業経営審議会の動向について】

事務局説明

- ・京都府営水道事業経営審議会の動向について 事務局説明

○質疑

会長 次回の上下水道事業懇談会はいつごろ開催されるか。

事務局 11月から12月ごろを予定しています。

会長 そうすると11月中の経営審議会の答申が報告されるということか。

事務局 それぐらいで内容が分かってくるかと思われる。

会長 京都府から受水市町に個別に調整に来ているということか。

事務局 京都府が個別に聞き取りをされている。それぞれの市町で実情が違うので、本市は本市の実情をしっかり伝え、値上げしないように強く要望したところです。

委員 審議会の構成はわからないが、知事の諮問機関か。審議会の意見に拘束されるのか。

会長 答申として出したかぎり無視はできないだろう。一定配慮しなければならないだろう。

議事4-② 【いろは呑龍トンネル調整池の完成について】

事務局説明

- ・いろは呑龍トンネル調整池について 事務局説明

○質疑

委員 河川改修や道路改修であれば効果が見えるが、呑龍トンネルはものすごく効果があるのに見えない。市民に効果がもっとわかるように、理解してもらえるように、京都新聞にシリーズ物で掲載してもらうとか、KBS京都で流してもらうとか、しつこいくらいにやると定着すると思う。

会長 市民見学会など色々と企画されるとよいと思う。こういう事業が進められていることを知ってもらうことは重要である。